

このコーナーでは、ボランティアをしている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事、またボランティアセンター開設に関する情報を掲載していきます。



『朝、子ども達の交通安全を見守ることが、健康のためにもちょうどいい運動になっています』



ひばりが丘1区在住 みんなのおじいちゃん

毎朝、井野小周辺の横断歩道で子ども達の登校を見守って下さる方がいます。



元気な子ども達と接して、エネルギーをわけてもらっているとおっしゃる河野さん。ボランティアをしようと思っしている訳ではなく、自分の生活にけじめがつくので始めましたとおっしゃる浦田さん。子ども達の傘にひっかかる草も刈ってくださっている古田さん。



みるみるウォークの帽子をかぶって活動していると、子ども達も安心して挨拶してくれるそうです。登校途中の時間確認に、「おじさん、今何時？」とたくさん子ども達が声をかけていました。子ども達と顔見知りになっていたのも、鍵の落とし物の届出があった時も、すぐ落とし主に返すことが出来たそうです。



みるみるウォークの帽子

<お願い!!>

登下校時間、子ども達のために横断歩道付近では減速をして下さい。朝はお急ぎと思いますが、よろしくお願いします。



《こんな素敵な方も》長年、ひばりが丘の道路のごみを拾うなど、町の美化に力を尽くしてくださっている方がいます。やはり、ご自身の健康のためになさっているとのことですが、それでも続けて出来るということは素晴らしいと感じます。

宇美町の他の地区でも、児童の見守りや交通安全指導をして下さる方がいらっしゃいませんか？
皆さんも自宅の周辺、地域の様子にちょっと気をつけて目を向けてみませんか。



●(仮称)ボランティアセンター開設準備委員会 経過報告

平成21年10月7日に(仮称)ボランティアセンター開設に向けての公聴会を開催致しました。

第5回(H21.10.7)・委員会提案書について

編集後記：

毎日、大変ではないかなと思いましたが、土日の休みの日には、つまらないくらいとおっしゃっていました。子どもは、地域の宝ですね。

